

高レベル放射性廃棄物最終処分場と文献調査

寿都町何が起こっているのか？

さっぽろ市民放射能測定所はかーる・さっぽろ
代表 富塚とも子

押さえておきたい5つの事実

- 寿都町で起きたこと
- 寿都町ってどんな町
- そもそも核のゴミの最終処分場とはなにか？
- 国が北海道に注ぐ熱い視線
- 北海道を守る力

寿都町で起きたこと

- 2020年8月7日 町長、町議会全員協議会で応募発言
- 13日 北海道新聞、町長が文献調査応募を検討と報道
- 鈴木知事受け入れがたいと発言。小樽地区漁協組合長会(後志管内8漁協と石狩湾漁協)抗議文を採択。隣接3町村(黒松内町, 蘭越町, 島牧村)長、反対表明。道内各地で反対の声広がる。
「寿都に核のゴミはいらない町民の会」反対署名開始

寿都町ってどんな町



- 札幌と函館のほぼ中間、双方から一般道でおよそ3時間の距離
- 面積は95.25 K m²と狭くほとんどが森林,原野
- 主な産業は、漁業と水産加工業
- 人口はおよそ2900人。町は2060年には

1 862人になると推計

第8次寿都町総合振興計画より

寿都町ってどんな町

- 片岡春雄町長(71)5期目。2期目から4期連続無投票当選
 - 1989年 寿都町職員として全国の自治体で初めて風力発電施設を設置
 - 2020年8月 「6月から毎月原子力発電環境整備機構((NUMO)による核のゴミ地層処分の勉強会を開いてきた。交付金は最大のビジネスチャンス。必ず最終処分場が建設されるわけではない。いつでも中止できる」
- 第8次寿都町総合振興計画 核のゴミ処分場については一切記述なし

寿都町ってどんな町

- 2018年度 町財政状況資料集
 - 歳入合計のうち、安定した財源である町民税や固定資産税がわずか4.5%。一方、ほとんどがふるさと納税である寄付金が21%。
 - 2020年度の予算の風車の収入はおよそ6.3億。支出は4.5億。財政基盤は弱い。町は2025年から赤字になると推計。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

区分	歳入の状況 (単位: 千円・%)	
	決算額	構成
地方税	240,214	4
地方譲与税	25,526	0
利子割交付金	421	0
配当割交付金	568	0
株式等譲渡所得割交付金	490	0
分離課税所得割交付金	-	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-
地方消費税交付金	63,738	1
ゴルフ場利用税交付金	-	-
特別地方消費税交付金	-	-
自動車取得税交付金	5,730	0
軽油引取税交付金	-	-
地方特例交付金	659	0
地方交付税	1,877,775	35
普通交付税	1,674,572	31
特別交付税	203,203	3
震災復興特別交付税	-	-
(一般財源計)	2,215,121	41
交通安全対策特別交付金	-	-
分担金・負担金	2,438	0
使用料	82,199	1
手数料	2,153	0
国庫支出金	304,042	5
国有提供交付金(特別区財源交付金)	-	-
都道府県支出金	104,823	2
財産収入	19,479	0
寄附金	1,145,221	21
繰入金	633,074	11
繰越金	41,792	0
諸収入	238,971	4
地方債	540,239	10
うち減収補填債(特例分)	-	-
うち臨時財政対策債	75,839	1
歳入合計	5,327,552	100

そもそも核のゴミの最終処分場とはなにか？

- 無限機関のようにエネルギーを生み出し続けるもんじゅ
- その燃料となるプルトニウムを使用済み燃料から取り出すのが再処理
- その際、廃棄物として出る大量の死の灰をガラスで固めて金属容器に封入する。製造直後は、その横に人が20秒立てば、100%即死。これが主な特定放射性廃棄物。
- 4万本の特定放射性廃棄物を穴を掘って地下に埋める計画。

特定放射性廃棄物のごみなどという生易しいものではありません。

もんじゅは失敗！再処理は無用の長物。なのになぜ？

国が北海道に注ぐ熱い視線

- 各原発の使用済み燃料の保管プールはどこも満タンまで秒読み状態
- トイレなきマンションは使えない
- 原発銀座福井県「原発のゴミは県外に運び出すこと」
- 核関連施設銀座青森県「日本中から受け入れた使用済み核燃料はあくまでも一時保存」
- 福島県「東京電力福島第一原発事故による核汚染物は圏外に運び出すこと」
- 幌延深地層研究センター NUMOの理事長発言「掘った穴を埋め戻すのはもったいない」

北海道を守る力

- 幌延町 農薬汚染の大変少ない酪農地帯 化学物質の少ない貴重な土地
- 泊原発の再稼働とセットで進む神恵内村、寿都町の文献調査→最終処分場建設
- 経産大臣が「地元反対なら選定プロセスから外れると文書で回答」

ただ、経産省資源エネルギー庁は「選定プロセスから外れた後でも、知事や市長村長の意向が産生に変われば、調査を会記載させる可能性がある」

次のステップ

- 寿都町の非民主的な状況
 - 説明会で噴出した反対の声を無視して町長は独断で応募
 - 住民による「住民投票条例制定の請願」を議員9人中5人が否決
 - 家族、親戚、友人等コミュニティを分断する核問題
 - 地域を守るために、町民団体が推進派町議のリコール運動を準備中
- 寿都町民でも神恵内村民でもない私たちも、当事者。
 - 全道への呼びかけ始まる「核ゴミ問題を考える北海道会議」
 - 「泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会」などによる署名運動